

ひでお行動

VOL. 17

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

5月17日

朝から就職相談、9時からK氏と意見交換、久しぶりに、前後援会長来所、前会長、春の叙勲に輝く。叙勲祝賀会盛大に思うが、.....山形へ晃から送ってもらう。今日も五月晴れ、庄内平野は田植え作業ピーク、6月には庄内平野が緑の絨毯に包まれた風景を見せてくれる。窓を全開する。新緑の風、香りも気持ちが良い。体も心も癒される。連合山形の国政報告会、終了後、雇用能力開発センターM氏と意見交換、その後連合会長と意見交換、最終新幹線で東京へ、宿舎に戻るの12時廻ってしまう。

今日の整理

① 一番好きな季節である。全国でも有数な穀倉地帯、「米とこころ」庄内平野、ここで生



まれ、育ち、鍛えられたことを誇りに思う。止まる事をしらない宮崎県の口蹄疫感染、明日は、質問での大臣答弁、現地視察を踏まえて、社民党として申し入れを行う。

② 「基金を活用した教育訓練制度」制度自体自民党から引き継いだ制度であり、多くの課題がある。社民党の政策と照合し改善策を打ち出さなければならない。

5月18日

口蹄疫感染、今日も確認され11万頭越える。宮崎県知事非常事態を宣言する。8時過ぎから秘書と打ち合わせ、9時10分衆参議員団会議、10時弁護士会打ち合わせ、11時、伝統を未来につなげる会陳情、13時開会予定の本会議、与野党合意ならず大幅に遅れる。14時日本捕鯨協会打ち合わせ、15時日口協会打ち合わせ、17時政審全体会議「口蹄疫」勉強会18時半、農林水産副大臣「口蹄疫」申し入れ、19時15分代議士会、19時45分本会議やと始まる。しかし、郵政改革関連法案審議、野党ボイコット、23時半本会議終了。



今日の整理

① いよいよ与野党激突、会期末までこれから深夜国会多くなる状況、先日上程された国会改革法案撤回、予算委員会での「普天間問題、政治と金、ギリシア問題」集中審議を野党求め一歩も引かぬ。断続的に国対委員長会議開催し合意を探る。野党の要求理解できる面もあるが、要求内容は事項予算委員会ではなく、それぞれ常任委員会での集中審議に委ねる事が議会ルールである。しかし、野党の態度いただけない。こんなに議会を混乱させて、大幅に遅らせ、郵政改革法案審議ボイコットするとは。共産党、みんなの党までが国

民にどう説明つけるのか。

② 口蹄疫、山田副大臣現地対策本部貼り付け、陣頭指揮執ることになるが遅い。ここまで広がるとは誰も予想できなかった。伝染業の危機管理体制問われる。天災であり激甚災害と同等以上のあらゆる支援体制を敷くことを申し入れる。社民党として党首を先頭に宮崎県連合と連携し対応策に全力を上げる。

5月19日

朝から昨日の「疾病小委員会」でワクチン投与、全頭札処分方針確認された為、農林水産省、筆頭理事等に情報確認で動く。11時半ドイツ大使より昼食招待される。14時社民党口蹄疫対策本部立ち上げ打ち合わせ。2時鳩山対策本部長、川南町すべての家畜にワクチン投与、札処分決定、殺処分頭数前代未聞、3時半青少年問題対策委員会質問レクと通告、明日の原稿整理で執務室に10時半まで残る。宿舎11時過ぎる。今日の整理



①、ワクチン投与決める。川南町10キロ圏内のすべての牛、豚をワクチン投与し早期殺処分する事を2時の対策本部で決める。圏内には牛6万頭、豚26万頭、すべて殺処分参った。

それしかないのか。畜産農家、牛、豚の悲鳴が聞こえそう。英断なのか、それとも別の対策あるのか。明日の農林水産理事会まで情報集め対応していく。

② ドイツ大使館、南麻布の1等地にある。以前ドイツで持っていた土地が国会図書館付近であった為、豪商の土地と交換したのだと言う。神風議員、米永議員と3人だけ出席、

欠席議員に対し私は、理由がどうであろうと失礼ではないか。と言いたい。昼食挟んで2時間大使と意見交換、通訳2人配置して頂き突っ込んだ意見交換できた。来週お世話になったドイツ社民党議員来日予定、楽しみ又増えた。

5月20日

地元酒田まつり、雨に打たれたが人の出入りは多かったと連絡入る。朝から口蹄疫関連ニュー



ース流れている。本当にワクチン投与し全頭殺処分が良いのかと思う。確かに感染は防げるが、その後埋却する土地が確保できるのか、今でも土地確保できない中で、30万頭越える牛、豚、ましてや感染していないのも殺処分して、土地確保しなければならない。処分終るまで期間どのくらいかかるのか。家畜農家の同意得られるのか。考えれば考えるほどおかしくなる。今日は8時45分青少年問題対策特別委員会理事会、9時委員会、9時55分から20分質問に立つ、12時10分理事会、12時45分社民党代議士会、13時本会議、2時20分農林水産理事会、3時半環境質問レク、5時半、捕鯨、日本の食文化を守る集会（社民党代表して挨拶）、今日も連絡受けていたが、地元各首長さん方の陳情に立ち会うことができず秘書対応になったことにお詫びする。



今日の整理

① 本会議で口蹄疫対応で自民党から責められ放し。口蹄疫でこんなに騒がせているのに、担当大臣として、赤松大臣、何も国民にメッセージ送らない。与党議員ではあるが、この態度は許せない。理事会で自民党追い打ち駆ける申し入れあり。18日の「疾病小委員会」会議録、19日の対策本部会議、議事録説明求め明日聞くことにする。感染予防対策以降の進め方など問題多いし、解決するまで、まだまだ時間かかる。社民党として対策本部作することを提案し了解る。25日の農林水産委員会、与党1時間野党3時間で合意したが、質問時間もらえず。少数政党の泣き所、残念である。しかし、政権与党として支えなければならぬ。支えることは良い事、悪い所ズバツと言いきることである。

② 大学進学にとっては命綱である「奨学金制度」小泉政権の中で無利子から有利子枠の拡大、返済金の取立て、3か月も滞納するとブラックリスト化など推し進められ、学生、親そして、大学浪人達が悲鳴を上げている。貧困と格差、まさに教育そのものに大きな波紋を投げている。この問題を青少年問題対策委員会で取り上げる。(後日 HP 映像館にアップする。)

③ シーシェパードによる悪質な妨害を受けながら調査捕鯨船団、日本の捕鯨伝統と食文化を守る為に頑張っている。私の小さい頃は肉は高価で食べられなく代用として鯨肉を食べた。しかし、今は逆、鯨を食しない各国から日本の捕鯨に大きな批判、IWCの下で調査による捕獲枠が設定され年々減少、そして近く IWC 総会開催される。調査捕鯨枠更に減らせられる状況にある。私の上野秘書5年間オーストラリア滞在、オーストラリアは



カンガルー肉を食べる、鯨は食べない。そしてシーシェパードによる妨害をみてきている、世界から見る日本、日本から見た世界・・・国際感覚・・・



5月21日

執務室、書類で乱雑、必要な書類を取り出すのも苦勞する。整理しているつもりであるが書類溜まってしまふ。11時、口蹄疫、担当者から発覚した以降、今日までの経過説明受け、社民党政策担当、農林水産部長を入れて議論、13時半「もんじゅ」意見交換、14時半、環境委員会理事会、16時インターネット意見交換、20時最終便で帰省

今日の整理

ワクチン投与、畜産農家受け入れず。保障の問題ではない。埋める土地対策できていないから感染止まらない。だから止める為にワクチン投与、投与されれば土地決まり次第順次殺処分、30万頭越える、感染家畜7万頭の時、私の質問で必要な面積16haと答弁、30万ですから単純計算でも65ha以上の土地が必要になる、家族同様育てて、感染していない牛を、感染するからと言ってワクチン投与、畜主には絶えられないのである。家畜伝染病法では畜産農家が土地を探す事になっている。この事が発覚時から個人対応、しかし、感染広がり、国が責任持って対応すると答弁してきたが、対応できてないことを指摘してきたのに、今になって確保できないからワクチン投与・・・、畜産の町「川南町」畜産農家だけでなく、関係する職場で働いている人、食肉産業に関わる人達・・・

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律について

(質問の返事)衆参通過し19日成立しました。木材使用の内国産材4割、しかも、公共物利用は7%しか使われていない。戦後植林した森林、今材木として利用できるまで育っている。自民党政権の下で「材木よりコンクリート」政策が勧められ、山は荒れ林業、材木産業厳しい状況に追い込まれている。低炭素社会、脱化石燃料社会、新政権の目指す方向である。成立以降基本目標策定急ピッチ、建築基準の見直し含め、これから2階以下の公共物はすべて木材建築、3階以上は内装できるだけ木材使用となる。法律でき、県、市町村もこれから条例整備に入る。学校統廃合、老人介護施設など木材需要多くなる。森林整備と一体となって勧めていく。しかし、大工さん、製材業など営む者にとって個人事業が多く、入札参加などでハードルもある。私の地元で、この課題など含めて建築士、大工、製材業の人達が法人立ち上げなど勉強会企画して、本格稼働に向けて勉強会を立ち上げる。この事に汗をかいています。もし、手伝えることがあったら何でも言ってください。

5月22日

断腸の思いで知事、町長ワクチン投与受ける。確かにこれ以上感染広げることにはできないとの思いはわかる。でも畜産農家再建策・・・すべての家畜がいなくなる「畜産の町、川南町」・・・ブランド「宮崎牛」8時半出発、国政報告会で寒河江に向かう、イライラする気持ちを田植え作業が終わった庄内平野が癒してくれる。寒河江では、10時半からの国政報告会の前に8時から社民党ポスター張り出し作業、頑張っている。お礼申し上げます。12時で終了し遊佐町へ向かう。晃からは司法書士



総会など3会場に出席してもらうことにし木村秘書の車で向かう。2時集合ギリギリ、弁当で昼食終え、採石許認可で地元と業者の対立している現場視察、その後役場で、県担当者、町から副町長、課長他、住民組織代表、そして社民党、意見交換。このまま許可出せる計画内容ではないし、また、国立公園鳥海山のふもとであり景観、環境問題も残る。6月10日県は業者も入れて会議を開催する予定にしている。国会ではアセス改正法案審議中であり、火曜日質問に立つ予定になっている。開発行為など法の規制は甘い。環境、自然を活かした町づくりを進めてきている遊佐町、生協と産直運動を取り組みながら、すでに遊佐町のお米全体の6割まで実績伸ばしている。生協から支持されているのは鳥海山の湧き水はじめ自然を最大限に活かした有機栽培に取り組んでいる農家の姿勢そのものと私は思う。だからこそ住民の眼が鋭いし真剣なのだと思う。6時で終わり事務所に向かい、7時半匠工役員会に出席し「公共構造物材木利用法案」を説明し意見交換する。勉強会を立ち上げていくことにする。

5月23日

一日地元、「辺野古付近にお願いせざるを得ない。断腸の思いで下した結論だ。出来る限り県外という私自身の言葉を守れなかったことを、心からお詫び申し上げたい。」実況テレビでみる。県庁前県民で溢れている。県民に何も語らない総理の姿。県民の声よりも優先するものがあるのか。このまま押し通そうとしても、県民を無視し工事が進むわけがないのに、無理な計画を押しとおすほど国民は・・・社民党の国会議員の一人として態度が求められる私でもある。米国だけ了解、地元と連立政権の了解とらないまま走る鳩山総理の態度は認めることは出来ない、連立離脱、維持いずれにしても、会期末を控えて政局に大きな混乱が生じる。地元キャンセルして明日午前中に上京する。